

まなびだより

「つどろ」「まなぶ」「むすぶ」公民館 人づくり・地域づくりを めざして — 6つの公民館の活動報告 —



目次

【巻頭】 あいさつ	… 10 ページ
岩滝地域公民館	… 11 ページ
加悦地域公民館	… 11 ページ
中央公民館	… 12 ページ
算所地区公民館	… 13 ページ
温江地区公民館	… 13 ページ
下山田地区公民館	… 14 ページ

問 社会教育課 ☎ 43-9026

— 巻頭・あいさつ — 公民館活動の 連携を

新 新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していた活動の影を落としています。どの公民館でも軌道に乗せようとさまざまな工夫を行い取り組みを推進しています。しかしながら、人口減に伴い公民館活動だけでなく、多

くの地域づくり活動の担い手不足が、深刻な課題となってきました。こういった状況を克服するためには、公民館活動以外のさまざまな地域づくりの活動との連携や、近くの地区公民館どうしの連携が不可欠になってきています。その状況を確認・共有しながら、今後は連携ができる公民館事業を、できる公民館から積極的に行っていただきたいと思います。また、地域公民館と地区公民館どうしでの連携の在り方もしっかりと検討して

いかなければなりません。人口減や少子化などで地域の課題はますます増えてきています。課題を解決していくために、公民館は重要な役割を担っていますので、今後もさまざまな工夫を重ねて活動の推進をして参ります。地域の皆さまも各公民館が地域づくりのために実施する事業に対しまして、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

与謝野町公民館連絡協議会
会長 永岡 暁



フラワークラフト (岩滝地域公民館)

岩滝地域公民館

継続は力なり

— 「土曜講座」スタートから
23年 —

平 成14年、学校週5日制の実施に伴い、休日となった土曜日を活用し、岩滝地域公民館で小学生の皆さんの居場所づくりや学び、体験の場として「土曜講座」の事業がスタートしてから23年が経ちました。

当初は「岩滝ジュニアコーラス」

「将棋」「三味線」「お菓子の世界」の4講座から始まり、「絵画」「パソコン講座」「茶道」「いけばな」「キッズ・エクササイズ」「ダンボール工作」「脳トレキッズ」など、さまざまな講座を学び、体験してもらいました。多いときで、延べ993人の受講がありました。新型コロナウイルス感染症の影響や少子化のありを受けて、受講生の人数も減少の一途をたどっています。

さて、令和7年度の土曜講座は、「はり絵あそび」「フラワークラフト」「らくがきつづ」「茶道」「ばすてる」の5講座を実施し、延べ215人が受講しました。

「はり絵あそび」は、ちぎり絵の講師さんに依頼し、低学年でもやりやすいようにハサミを使うなど工夫していただきました。毎回作品を仕上げました。「フラワークラフト」は、ドライフラワーを使った小物づくり、「らくがきつづ」は、墨汁や鉛筆、絵具、色鉛筆など、いろいろな画材を使って自由に絵を描きました。「茶道」は、割り稽古、盆略点前など、お茶を点てる所作やおもてなしの心を学びました。「ばすてる」は、チョークのような画材を使い、自分の手指で色をぼかして淡い優しい風合いの作品を仕上げます。ハロウィンやク

リスマスなど、季節のモチーフを各自が自分流にアレンジして、楽しい作品をたくさん作製できました。ぎやらしい知遊館では、今年度も「講座作品展」として受講生の作品を展示し、「はり絵あそび」「ばすてる」「らくがきつづ」の成果発表の場としました。



「ばすてる」の様子

加悦地域公民館

あらゆる年代のみなさんにお楽しみいただける事業を



高齢者教室の様子

加 悦地域公民館では、生涯学習として一般の方々を対象に、5月から7月までの水曜日と土曜日に「ヨガ講座」、9月に「寄せ植え体験」、そして10月には「音楽会」を開催しました。

これらは、健康づくりや趣味づくりなどの場を、実際に体験していただきながら紹介することを目的としています。ですが、少しずつファンの方が増えているものもありうれしく思っています。また、小学生を対象にした土曜支援講座では、夏休み期間中に「夏休み学習教室」「ニュースポーツ」「木工教室」「電気出前教室」「けん玉教室」を開催。中でもニュースポーツは、加悦地域公民館では初めての事業でしたが、1年生から6年



「らくがきつづ」の様子